

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成26年2月13日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL http://www.takamaz.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 喜与志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 溝口 清 (TEL) 076-274-0123(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,253	△8.5	326	△62.3	466	△50.9	302	△54.8
25年3月期第3四半期	11,210	11.3	866	81.7	950	74.6	668	121.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 493百万円(△24.4%) 25年3月期第3四半期 653百万円(129.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	27.75	27.62
25年3月期第3四半期	61.38	61.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,051	9,934	58.2
25年3月期	16,499	9,560	57.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,924百万円 25年3月期 9,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
26年3月期	—	4.00	—		
26年3月期(予想)				6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	14,674	△2.3	916	△15.1	1,039	△16.4	677	△22.0	62.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	11,020,000株	25年3月期	11,020,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	120,629株	25年3月期	121,629株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	10,898,531株	25年3月期3Q	10,893,392株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策やアメリカ経済の回復を受けて円安・株高が進行し、大企業を中心に収益が改善傾向を示す中で設備投資や個人消費も増加し始めるなど、景気は緩やかに回復してきました。先行きを見ましても、消費税増税による影響や世界経済減速のリスクがあるものの、景気回復の本格化が期待されております。

工作機械業界におきましては、国内市場では各種政策により需要回復の動きが継続し、海外市場では中国を含めたアジアの回復は遅れつつも、北米は堅調に推移し、欧州は緩やかな回復基調であることから、平成25年12月の単月受注が今年最大の1,077億円に達し、4ヶ月連続の1,000億円台を記録したことなど回復傾向は継続しております。

このような状況の中で、当社グループは前連結会計年度後半の工作機械受注高が低水準で推移したことの影響を受け、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は102億53百万円と、前年同期に比べ9億56百万円(8.5%減)の減収となり、営業利益は3億26百万円(前年同期比62.3%減)、経常利益は4億66百万円(同50.9%減)、四半期純利益は3億2百万円(同54.8%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

工作機械事業

工作機械事業におきましては、需要拡大が見込まれる海外市場への対応強化による市場シェアの拡大と生産の増強及び効率化に取り組んできました。

中国では、当社と関係会社が一体となって市場シェアの拡大に努めてきました。また、新工場に移転し、最大生産能力が旧工場の4倍以上となった杭州友嘉高松機械有限公司では、中国市場の需要拡大に対応するための体制を整備してきました。

インドネシアでは、需要の高まりに対応して現地法人を平成25年4月に設立しました。販売活動及び迅速なサービス・メンテナンスを行っており、輸入ライセンスも平成26年1月に取得しました。

ヨーロッパでは、ようやく景況感が上向きつつある中で、製品の積極的アピールによって引合・受注の確保に努めてきました。

その他、受注した日系大手ユーザの海外設備投資案件に最適な提案とサービスを提供することで、次の案件の受注確保をはかってきたとともに、海外販売体制の拡充を進め、各海外拠点の増員や現地ディーラーの新規開拓を行ってきました。

研究開発におきましては、新興国市場に多い女性作業者に優しい仕様として、女性視点で開発した新興国向け戦略機「GSL-10」を発表しました。また、平成25年12月に「GSL-10」をメインとした新製品発表会を本社工場で開催して製品アピールを行い、受注確保をはかりました。

生産におきましては、本社工場を増築させて組立スペースを拡張し、生産能力拡大をはかるとともに、新規導入した2基の大型立体自動倉庫の有効活用による物流効率化と適切な在庫管理を進めてきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における工作機械受注高は100億54百万円(前年同期比18.3%増)となり、工作機械受注残高は62億69百万円(同49.7%増)となりました。

売上高におきましては、90億44百万円(同12.5%減)となり、その内訳は、内需は依然として国内の中小ユーザが設備投資に慎重な状況であったことから42億18百万円(同30.7%減)、外需は大手ユーザの海外展開に伴い48億25百万円(同13.6%増)、外需比率53.4%(前年同期は41.1%)であります。また、営業利益は2億97百万円(前年同期比65.9%減)となりました。

IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、年初は厳しい状況にありましたが、新規開拓も含めた積極的な営業活動を推進してきた結果、年央から回復に転じた半導体関係の需要がけん引役となつて、当第3四半期連結会計期間には売上高が大きく改善しました。

この結果、売上高は5億90百万円(前年同期比51.1%増)となり、営業損失は4百万円(前年同期は17百万円の営業損失)となりました。

自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、北米の自動車生産回復を背景に高水準の受注が継続し、フル生産体制で対応してきた結果、売上高は計画を上回って推移してきました。また、将来的な規模拡大のため、新規受注の獲得や新規取引先の開拓もはかってきました。

この結果、売上高は6億18百万円(前年同期比28.7%増)となり、営業利益は34百万円(同156.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は170億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて、5億52百万円増加しました。

その主な要因としましては、現金及び預金が4億25百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が3億80百万円、たな卸資産が2億60百万円、投資その他の資産が1億97百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は71億17百万円となり、前連結会計年度末に比べて、1億78百万円増加しました。

その主な要因としましては、未払法人税等が3億78百万円、流動負債のその他(設備関係支払手形、未払金等)が3億32百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が4億90百万円、短期借入金が1億19百万円、長期借入金が3億36百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は99億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて、3億73百万円増加しました。

その主な要因としましては、利益剰余金が1億82百万円、為替換算調整勘定が1億20百万円増加したことによるものです。なお、自己資本比率は58.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年11月8日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,336	2,911
受取手形及び売掛金	5,111	5,492
商品及び製品	455	478
仕掛品	768	924
原材料及び貯蔵品	779	861
その他	322	406
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	10,769	11,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,453	1,450
土地	2,326	2,326
その他(純額)	722	791
有形固定資産合計	4,502	4,568
無形固定資産		
	113	103
投資その他の資産		
その他	1,114	1,312
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,113	1,311
固定資産合計	5,729	5,982
資産合計	16,499	17,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,005	3,496
短期借入金	829	948
未払法人税等	378	—
賞与引当金	115	69
役員賞与引当金	31	23
製品保証引当金	31	27
その他	982	649
流動負債合計	5,375	5,215
固定負債		
長期借入金	668	1,004
退職給付引当金	497	497
役員退職慰労引当金	300	322
その他	98	77
固定負債合計	1,563	1,902
負債合計	6,938	7,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,822	1,822
利益剰余金	5,849	6,032
自己株式	△49	△49
株主資本合計	9,458	9,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49	120
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	42	162
その他の包括利益累計額合計	93	283
新株予約権	7	7
少数株主持分	1	2
純資産合計	9,560	9,934
負債純資産合計	16,499	17,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,210	10,253
売上原価	8,425	7,875
売上総利益	2,784	2,378
販売費及び一般管理費	1,918	2,051
営業利益	866	326
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	4	5
受取保険金	1	37
再生物売却収入	6	9
持分法による投資利益	52	50
為替差益	10	32
その他	19	14
営業外収益合計	97	152
営業外費用		
支払利息	10	12
保険解約損	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	13	12
経常利益	950	466
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	0	—
新株予約権戻入益	46	—
特別利益合計	47	2
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	996	468
法人税、住民税及び事業税	251	122
法人税等調整額	75	42
法人税等合計	327	165
少数株主損益調整前四半期純利益	669	302
少数株主利益	0	0
四半期純利益	668	302

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	669	302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	70
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	0	45
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	75
その他の包括利益合計	△16	190
四半期包括利益	653	493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	652	492
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。